

## 推薦の言葉



この本はいろいろな不思議が込められている。

### 不思議その1

読んでいるうちに自分が誰だったかを忘れてしまう。

あるページでは、「そうだよ。そういうふうに言われれば俺だってフロスをやる気になるのに」と患者の立場で読んでいたはずなのに、「そうだよ。よく書いてくれた。ここをうちのスタッフにもぜひ読ませたい」といつの間にか歯科医師の目線で読んでいる。ところで、書いている和さんは歯科衛生士だけ？

### 不思議その2

どこから読み出してもいい。結局全部読みたくなる。そんな本なのだ。

診療の合間に夢中になって読んでいたら、診療室から呼ばれた。後ろ髪をひかれる思いで診療してから、また本に戻ることになる。

今度は、なんとなく興味を惹かれるタイトルのページを開いて読む。やっぱり引き込まれた。「うん。そうだ、そうだ」、「同じこと思っていたよ!」とまたのめり込んでその場を離れられなくなる。

### 不思議その3

あなたが新人でもベテランでも、この本のどこかに必ず答えがある。

「あーあ、またやっちゃった」、「この本、読んでみて」

「あーあ、あの子には頭にきちゃうわ」、「この本、読んでみて」

「このごろスランプなんだ」、「この本、読んでみて」

「やったー! 私をほめてあげたいわ」、「そんなときこそ、この本、読んでみて」

10年後には、先生にも、同僚にも、患者さんにも慕われる素晴らしい歯科衛生士になりたいあなたにこそ、バイブルとして枕元においてほしい。

できたら、メモが脇にあるともっといい。なんでもいい。気に入った格言、ことわざ、ツポにはまったフレーズ、単語を書いてみて。それを座右の銘として、ポケットに入れておいて時々開けてほしい。

2020年2月

谷口威夫 長野県・谷口歯科医院